

# The Ushiku Times



NO. 47

JUL 6

2017

茨城県立牛久高等学校

校長室から

7月4日(火)

全校生徒野球応援風景



7月5日(水)

岡田小学校での読み聞かせボランティア



～ 図書館で、出番を待つ生徒の様子 ～  
一人ひとりが、これから目を輝かせて  
聴く岡田小学校の児童を思い描いて、  
読みの練習をしています。



※ ※ ※ 将棋界 藤井 聡太 四段：29連勝に思うこと ※ ※ ※

以前、「ギフティッド・チャイルド」という言葉を耳にしたことがありました。これは、「先天的に、平均よりも、顕著に高度な知的能力を持つ子ども」（例えば、知能指数 160 以上の超天才児）のことです。こうした子どもたちに、ギフティッド・タレンティッド教育（Gifted and Talented Education）を行っている国もあります。

その中で、チェスの授業を取り入れている学校があります。その授業担当責任者は、

『ギフティッド・チャイルド』は多くの面で秀でている分、負けを体験しにくい。繊細な上に完璧主義者の彼らが、いったん敗北を味わうとダメージはとても大きい。でも人生は勝ち続けるなんて不可能。

早いうちに負け方を学ぶ必要もあるのです。」と説明しています。

もしかすると、藤井四段も「ギフティッド・チャイルド」の一人かもしれません。「勝ったのは、幸運でした。」と、語る 14 歳の少年の言葉には敗者へのねぎらい、自分に対する厳しさが醸成され、将棋ファンばかりか日本中を魅了しています。しかしながら、30 連勝目前で藤井四段は敗れました。

...

オグ・マンディーノが書いた”The Greatest Salesman in the World”（「世界最強の商人」）の中に、I will persist until I succeed.（私は成功するまでやり抜く）という言葉があります。

この言葉どおりすれば、近い将来、藤井四段は『世界最強の棋士』になるでしょう。